



きつねの嫁入り



萩市との災害時における支援協力に関する協定調印式



中国ブロック協議会第60回定例総会



まつり同好会（下関馬関まつりへ出店）



支部長会・選挙管理委員会



CONTENTS



No.126-2017

9

山口県土地家屋調査士会役員名簿				1
会長就任挨拶	会 長	杉山	浩志	2
副会長就任挨拶	副 会 長	乗川	慎二	4
副会長就任挨拶	副 会 長	井上	哲也	5
副会長就任挨拶	副 会 長	清水	浩二	6
第70回定時総会の報告	総務部長	大來	博康	7
日本土地家屋調査士会連合会定時総会報告	財務部長	原田	英樹	9
中国ブロック協議会定例総会の報告	広報部長	周原	稔	10
支部総会報告	岩国支部	荒川	猛	12
	周南支部理事	西田	泰則	12
	防府支部支部長	前田	祐史	13
	山口支部副支部長	澤田	誠	14
	萩支部支部長	岡村	匠	14
	宇部支部理事	末富	洋一	15
	下関支部副支部長	宮崎	敏幸	16
本部研修会報告				
第1回本部研修会報告	業務部理事	西村	暢夫	17
第2回本部研修会報告	センターやまぐち副センター長	浦井	義明	18
支部だより	岩国支部	荒川	猛	19
	周南支部支部長	曾根	章文	20
	防府支部企画委員	越智	隆次	21
	山口支部企画委員	山根	克彦	23
	下関支部企画委員長	百合野	崇	24
	下関支部企画委員	長崎	有喜	25
杭の日「無料相談会」報告	周南支部理事	西田	泰則	27
	防府支部副支部長	篠田	智昭	28
	山口支部副支部長	澤田	誠	29
	宇部支部副支部長	若林	功	30
	下関支部理事	福田	真也	31
各部紹介				32
山口法律関連士業ネットワーク定期大会の報告	広報部理事	宮崎	敏幸	35
全国一斉不動産表示登記無料相談会報告	広報部理事	伊藤	正典	36
事務所紹介	周南支部	大下	竜司	38
	山口支部	大森	淳一	40
親睦クラブの活動				
「さて、馬関まつりです」	まつり同好会	山田	篤志	42
青調会の活動				
第8回山口青調会定時総会の報告	青調会幹事	平井	隆雄	43
九州ブロック青年土地家屋調査士会福岡大会	青調会会長	宮崎	敏幸	44
山口青調会勉強会の報告	青調会副会長	山根	克彦	46
会員の作るページ				
葦山反射炉	萩支部	廣石	勝	47
事務局だより				48
広報部からのお知らせ				50

山口県土地家屋調査士会 役員名簿

任期 2017年5月～2019年5月

役 職		氏 名	支 部	役 職	氏 名	支 部		
会 長		杉 山 浩 志	岩国	顧 問	瀬 口 潤 二	宇部		
					西 本 聡 士	周南		
副会長	担 当	総 務 部	乗 川 慎 二	周南	相 談 役	戸 倉 茂 雄	周南	
		業 務 部	井 上 哲 也	岩国	参 与	三 好 一 敏	萩	
		社 会 事 業 部				山 崎 耕 右		
		財 務 部・広 報 部	清 水 浩 二	下 関				
理 事	総務部	常 任 理 事	大 來 博 康	山口	登 記 申 請 促 進 委 員 会	委 員 長	渡 邊 英 雅	山口
		部 員	大 下 竜 司	周南		委 員	井 上 哲 也	岩国
		〃	内 田 博 司	防府				
	財務部	常 任 理 事	原 田 英 樹	山口	検 討 委 員 会 山 林 地 図	委 員 長	井 上 哲 也	岩国
		部 員	山 崎 義 文	下 関		副 委 員 長	渡 邊 英 雅	山口
		〃				委 員	古 江 直 樹	萩
	〃			委 員 (協)		澤 本 貴 裕		
	〃			ア ー ド バ イ ザ ー		山 崎 耕 右		
	社会業務部	常 任 理 事	白 石 龍 二	宇部	注 意 勧 告 理 事	統 轄 理 事	杉 山 浩 志	岩国
		部 員	小 原 秀 夫	岩国		理 事	井 上 哲 也	岩国
		〃	永 瀬 勝 博	周南		〃	乗 川 慎 二	周南
	〃	西 村 暢 夫	宇部	〃		清 水 浩 二	下 関	
広報部	常 任 理 事	周 原 稔	岩国	〃	大 來 博 康	山口		
	部 員	伊 藤 正 典	萩	ネ ッ ト ワ ー ク 理 事	杉 山 浩 志	岩国		
	〃	宮 崎 敏 幸	下 関	〃	周 原 稔	岩国		
境界問題相談センター センター長 (常任理事)		大 田 浩 治	下 関					
監 事	代 表 監 事	浦 井 義 明	岩国	会 館 維 持 管 理 員	杉 山 浩 志	岩国		
	監 事	藤 本 精 二	宇部	〃	原 田 英 樹	山口		
	〃	竹 下 治	下 関	境 界 問 題 相 談 セ ン タ ー	セ ン タ ー 長	大 田 浩 治	下 関	
	予 備 監 事	石 田 浩 三	防府		副センター長 (弁)	中 光 弘 治		
委 員	中 島 順 一	岩国	副センター長 (調)		浦 井 義 明	岩国		
〃	富 永 弘	周南	運 営 委 員 (調)		林 弘	周南		
〃	山 本 三 喜 夫	防府	運 営 委 員 (弁)		中 山 修 身			
網紀委員	〃	藤 野 洋 一	山口	〃	堀 勉			
	〃	片 山 修 一 郎	萩	支 援 セ ン タ ー 財 産 管 理 人	運 営 委 員 長	瀬 口 潤 二	宇部	
	〃	高 杉 千 河 生	宇部		運 営 副 委 員 長 (協)	山 根 克 彦	山口	
	〃	宮 崎 幸 三	下 関	運 営 委 員	白 石 龍 二	宇部		
	〃	河 近 卓 美	岩国	支 部 長 会	支 部 長 会 議 長	益 田 正 規	山口	
	〃	今 川 竜 一	周南		支 部 長 会 副 議 長	岡 村 匠	萩	
〃	吉 村 憲 和	防府	支 部 長		田 村 直 久	岩国		
〃	若 月 慎 一 郎	山口	〃		曾 根 章 文	周南		
〃	廣 石 勝	萩	〃		前 田 祐 史	防府		
〃	高 野 一 夫	宇部	〃		豊 川 奎 植	宇部		
予備網紀委員	〃	藤 山 政 志	下 関	〃	八 田 廣	下 関		

会長就任挨拶



会長 杉山 浩志

先の定時総会において、2期目の会長に就任いたしました岩国支部の杉山浩志です。

前期2年間において、会の財政の安定化、研修の強化及び土地家屋調査士制度の周知等、当会の運営基盤が強固なものとなるべく努めて参りましたが、今期はさらに踏み込んで、土地家屋調査士制度を未来へ繋ぐために、その方策をより具体化し、実行出来るよう全精力を傾けたいと考えます。

ここで、前期の主だった活動を振り返るとともに、各部における今後の方向性も簡単ではありますが、お示し出来るところはしながら、ご報告させていただきます。

まず、総務部におきましては、「災害協定」の締結を進めて参りました。周南市、岩国市、そして今年の5月には萩市とも協定を締結いたしました。災害は、いつ、どこで、どのような規模で起こるかは、誰も予期できません。万が一の際に、我々が専門性を十分に活かして国民の要望に対応出来るよう、今後も引き続き、県下全市町との協定締結を目指していくつもりであります。

次に、財務部ですが、まずは、長年の懸案事項でありましたJRとの賃料交渉につきまして、年額約90万円減額による判決が出され、賃料が確定いたしました。今後は、会員の減少等の様々なシミュレーションを行い、将来に向けて備えていきたいと考えております。

また、会務全般をゼロベースで見直しをいたしました。今までの会務が本当に必要なかどうか、徹底的に検証を行ない、スリム化出来るところは手当ていたしました。さらに、半日当制度の導入や旅費の計算方法の見直し等、費用弁償の平等化と大幅な経費削減が出来たと考えております。

業務部・社会事業部につきましては、「専門家を担保する」ということを強く意識して、本部研修会を充実させました。幅広い範囲で講師の先生方もお招きし、業務受託書の法的根拠や、土地家屋調査士の倫理、そして、「筆界」に特化した連続研修、等々、皆様方の知見を広げるきっかけを作ることは出来たのではないかと考えております。今期も引き続き、アンテナを張って、業務基礎部分だけではなく、国の施策や時代のニーズに即したタイムリーな内容も含めまして、土地家屋調査士の能力担保を図り、制度そのものを発展させる上でも「核」となります「研修」の強化と多様化を図っていきたくと考えております。

広報部につきましては、表札の斡旋を行い、土地家屋調査士法施行規則第19条の遵守を図るとともに、土地家屋調査士の徽章のモチーフと、資格名の入った作業服の斡旋及び助成金の支給も行い、会員自らが広告塔となって土地家屋調査士及び土地家屋調査士制度のP

Rを図ることを試みました。

また、出前授業も、今までと同様に県下、3ヶ所の高校にて行っております。今後は、出前授業という枠を超え、「老人ホーム」等での相談会開催を検討し、高齢者の方々の相談にも対応出来る支援事業も視野に入れております。

境界問題相談センターについては、まずは、今まで以上に国民の皆様方に安全に利用していただけるADRセンターを目指すために、法務大臣によるADR認証取得を必須課題とし、規則等の完全見直しと、その準備を進めました。現在、法務省司法法制部とやり取りを行っている最中ですが、年内には認証の申請が可能であると考えております。

また、土地家屋調査士・弁護士・法務局登記官による「境界問題相談所」を昨年12月より開設いたしました。2か月に1回の開催で、現在は予約が取りにくい状態にもなっておりますので、今後は相談回数を増やす等、検討を進めていきたいと考えております。

最後に、今後の展望として、私達の資格がこれからも社会にとって必要とされ続けるためには、国民の皆様が本当に我々の助力を必要とされる場面で、その専門性、つまり、存在価値を発揮しなくてはなりません。今有る土地家屋調査士業務を守り、土地家屋調査士制度を発展させるためにも、「ADRセンター」、「筆界特定制度」、「境界問題相談所」、「財産管理人支援センター」、「災害協定」等々、我々が展開している様々な事業を通じて、一般市民の方々だけではなく、官公署や各種関係団体等に向けても、我々の専門性と、その利活用の有用性を強くアピールしていく必要があります。そして、それを継続していくことで、我々にとって将来に向けた、次なるステップが見えてくると考えております。

課題も有り、しかしながら希望の種もある、土地家屋調査士制度の将来を益々充実させるため、新執行部一同、引き続き全力で取り組んで参りたいと考えておりますので、今後とも、皆様方にはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副会長就任挨拶



副会長 乗川 慎二

第70回定時総会におきまして、副会長に選任されました周南支部の乗川慎二です。今まで本会総務部理事を1期2年、総務部長を2期4年させていただき、今回は副会長として総務部を担当させて頂く事になりました。総務部のメンバーは前年度財務部長として活躍され、かつ優秀で容姿端麗な大來部長を始め、今回で総務部が3期6年目になる内田理事、そして新戦力として知識豊富で情熱がすごい大下理事が部員に加わり、私が何もしなくても大丈夫な構成メンバーです。私が総務部メンバーの足を引っ張らないように努力していきたいと思います。

総務部の主な事業としては①会則、諸規則等の整備や②苦情相談者への対応がござい

ます。①会則、諸規則は、さまざまな法改正の度に内容を理解しつつ会則、諸規則に反映させる検討をし、場合によっては新たに規則、規程を作成します。あらゆる角度からの検証、

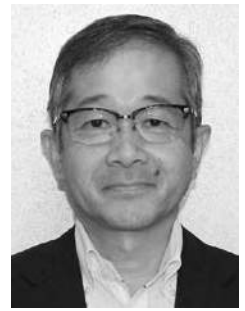
検討が必要で非常に悩ましい事業です。

②苦情相談者への対応も非常に神経を使います。相談者の話を聞き、対象会員にその旨を伝えていますが、相談者と対象会員の話が相違する場合には、今後どのように対応して行くべきかを検討すると非常に悩みます。また、会員の皆様には連合会のホームページに掲載されている懲戒処分情報（山口会のホームページにもリンクしております）を、是非拝見して頂きたいと思います。最近では戒告処分が多いのですが、「こんな事で・・・」と思わる事例も多々ございます。

愚痴、不安を言っても前に進みませんので、まずは自分に何が出来るかを考え、少しずつでも前進して行きたいと思えます。

今の心境としては、非常に微力ではありますが杉山会長を補佐し、会員の皆様のご指導ご協力を頂きながら、少しでも会務の運営のお手伝いが出来ればと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

副会長就任挨拶



副会長 井上 哲也

平成29年度の定時総会に於きまして、前期に引き続き副会長に選任されました、岩国支部の井上哲也です。今期で副会長3期目となりますが、引き続き業務部と社会事業部を担当させていただき事となりました。

1. 業務部について

前期の重点課題は、専門家責任と倫理及び筆界についてでした。愛知県土地家屋調査士会学術顧問 田中淳子先生を講師にお迎えし「土地家屋調査士の受託業務Q&A」について講義をして頂き、元東京高裁総括判事の加藤新太郎先生には「土地家屋調査士の倫理」について講義を頂きました。又昨年度は、筆界に関する3回の連続研修会を開催し、最後に、日本における土地境界の第一人者である、寶金敏明先生にお越しいただき筆界についてのご講義を頂きました。

今期は、筆界に関する研修は勿論のこと、ドローンやGISソフト等を活用した、近い将来に、なるであろう調査士業務についての研修等を青年土地家屋調査士会と共同で開催してゆこうと考えております。

又、前期、前々期に引き続きではありますが、嘱託登記において土地家屋調査士が活躍できる環境づくりです。官公庁が嘱託事件の

際に作製する地積測量図のなかには、実際には調査、測量をしていない担当職員が作成者欄に記名押印をしているケースも少なくありません。これは、適法ではないとの見解を中国ブロック管内の複数の顧問弁護士より得ております。公嘱協会とも連携し、官公庁に対し注意を促しておりますが、改善されていないのが現状です。今後は、政治連盟とも協議を進め対応してゆこうと考えております。

2. 社会事業部について

社会事業部の主な事業は、山林地図検討委員会です。昨年度までの調査で、山口県下の全市町について山林地図の有無を調査しましたが、保管状況が不明である市町が多く山口県下の全ての山林地図の収集は大変困難であることが判明しました。

今期中には現存する全ての山林地図の収集、整理を行い、山林地図検討委員会の事業を完了する予定です。

以上の課題を、白石業務部・社会事業部兼任部長を中心に小原部員、永瀬部員、西村部員と共に、会員の皆さまのご指導、ご協力を頂きながら取り組んでいきたいと考えておりますので、宜しくお願いいたします。

副会長就任挨拶



副会長 清水 浩二

平成29年5月26日に開催された『第70回定時総会』に於きまして、副会長に再任されました、下関支部の清水浩二です。

後日行われた、正副会長会議にて今期も財務部及び広報部を担当させていただく事になりました。前期よりも効率的に会務を行い、全力でこの職務を全うしようと思っておりますので、引き続き、皆様のご助言、ご指導をおおき、この大役を務めてまいりたいと思っております。

振り返れば、下関支部の企画委員から始まり、支部の役員として6年、本会業務部員として4年、境界問題相談センターやまぐちの運営委員と下関支部の副支部長を2年、本会業務部長を4年、山口会の副会長と下関支部の支部長の兼務を2年、延べ18年間役員をさせて頂きました。業務関係の部署が多く、原田財務部長や周原広報部長に迷惑をかけることもあるかもしれませんが、今までの役員の経験を生かし、山口会にとってプラスになるように会務を行いたいと思っております。

前期、財務部では旅費日当の見直しや、会員数減少のシミュレーションを行いました。今期、財務部では、会館の維持管理について

様々なシミュレーションをし、今後の山口会の財政的な先行きを検討していきます。

また、広報部では、高校生を対象とした出前授業は継続的に実施し、今後は、高齢者を対象にした勉強会を、老人福祉施設に伺い、高齢者やその施設で働いている職員の方々を対象に土地家屋調査士の仕事を知って頂く勉強会を開催しようと考えております。

先ずは、私の地元の老人福祉施設を中心に、他の地区でも活動して頂けたらと思っております。近年は、隣接所有者が高齢者で施設に入所されている方も多く、ご家族や施設の担当者を経由して押印作業をする事も少なくありません。そして、このような様々な活動を実施する事によって、一人でも多くの方々に土地家屋調査士を知って頂く良い機会と考えております。

最後になりましたが、任期の2年間、井上副会長、乗川副会長と力を合わせ、杉山会長をささえていく所存でございますので、会員の皆様の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

簡単ではございますが、副会長就任のご挨拶とさせていただきます。

第70回定時総会の報告

総務部長 大來博康

第70回山口県土地家屋調査士会の定時総会が山口地方法務局局長をはじめ多くの来賓の方々にご臨席を賜り、下記のとおり開催された。

1. 日時 平成29年5月26日（金）
午前11時00分～午後2時40分
2. 場所 山口市湯田温泉三丁目5番8号
「湯田温泉ユウベルホテル松政」
3. 出席者 165名（会員総数224名）
本人出席 75名
委任状出席 90名
4. 議案
 - 第1号議案
 - (1) 平成28年度一般会計収支
決算報告承認の件
 - (2) 平成28年度特別会計収支
決算報告承認の件
上記の監査報告
 - 第2号議案
「財産管理人支援センター」
設立の件
 - 第3号議案
平成29年度事業計画（案）
審議の件
 - 第4号議案
 - (1) 平成29年度一般会計収支
予算（案）審議の件
 - (2) 平成29年度特別会計収支
予算（案）審議の件
 - 第5号議案
役員改選の件
5. 議事
議長に周南支部の林弘会員、副議長に山

口支部の和田祐二会員が就任し、議事の進行を行った。

第1号議案から第4号議案については、執行部の提案通りに承認可決された。

会員より「境界問題相談センター」と「境界問題相談所」の違いと活用方法について質問が挙がり、相談者のニーズに応じてその選択肢を有効に活用していただき、「境界問題相談センター」もより多くの方に利用していただきたいと答弁が行われた。

第5号議案の役員改選の件では、藤井明彦選挙管理副委員長より会長候補者として杉山浩志会員1名から届出があった旨の報告があり、林議長が表決による選挙を行った結果、挙手多数で杉山浩志会員が会長に選任された。次に山根克彦役員推薦委員長より副会長候補者として井上哲也会員、清水浩二会員、乗川慎二会員の3名を推薦候補者とする旨の報告があり、林議長が候補者毎に表決による選挙を行った結果、挙手多数により3名が副会長に選任された。さらに、他の役員についても各支部より推薦を受けた候補者にて採決を行った結果、挙手多数により承認可決された。

少子高齢化が進み会員数も減少傾向にある中、「財産管理人支援センター」の設立や「境界問題相談センター」の法務大臣認証取得、各市町との「災害支援協定」など新たな取り組みを行う根底には、国民から必要とされる土地家屋調査士であるために、会員ひとりひとりが高い意識をもつ必要があることを感じた総会であった。

以上にて、第70回定時総会の報告とさせていただきます。



法務局長表彰を受ける岡村匠会員



杉山会長による挨拶



秋山法務局長による祝辞

日調連総会 報告

日本土地家屋調査士会連合会定時総会報告

財務部長 原田英樹

第74回日本土地家屋調査士会連合会定時総会が東京都文京区の『東京ドームホテル』にて下記のとおり開催され、山口会からは、杉山会長、乗川副会長、井上副会長、清水副会長と私の5名で参加しました。

1. 日時 平成29年6月20日（火）
セレモニー（表彰式等）及び議事
平成29年6月21日（水）
議事
2. 場所 東京ドームホテル
3. 議事 第1号議案
 - (イ) 平成28年度一般会計収入
支出決算報告承認の件
 - (ロ) 平成28年度特別会計収入
支出決算報告承認の件
 第2号議案 役員等選任の件
 第3号議案 平成29年度事業計画
(案) 審議の件
 第4号議案
 - (イ) 平成29年度一般会計収入
支出予算(案) 審議の件
 - (ロ) 平成29年度特別会計収入
支出予算(案) 審議の件

以上の議案の全てが、賛成多数により承認可決されました。

セレモニーでは、20名の会員の方々が法務

大臣表彰を受賞されました。受賞された諸先輩方おめでとうございます。

各議案に対し、会場から活発な質問・要望が発せられていました。執行部よりの確かな回答がなされていました。

役員等選任の件では、会長選挙及び副会長選挙が行われました。

会長選挙 岡田潤一郎（愛媛会）96票、
國吉正和（東京会）83票

僅か13票差で、林 千年前連合会会長の後任として岡田潤一郎新会長が選任されました。

副会長選挙 岸本八太郎（兵庫会）56票
小野伸秋（岐阜会）123票
菅原唯夫（岩手会）127票
堀越義幸（群馬会）89票
戸倉茂雄（山口会）142票

戸倉茂雄会員が、副会長選挙トップでの得票。山口会より副会長が誕生しました。

懇親会では、自民党・民進党・公明党の議員団が来場され、挨拶の後、懇親会参加者と意見交換されていました。総会及び懇親会に参加できないと言われていた金田法務大臣が忙しい公務の合間を縫って参加され、挨拶されました。

日調連総会に参加して、調査士の未来を考えるいい機会となりました。



中国ブロック協議会定例総会の報告

広報部長 周原 稔

第60回日本土地家屋調査士会連合会中国ブロック協議会の定例総会が、山口市において山口会の引き受けにより下記のとおり開催されました。

山口会から役員として杉山浩志会長（中国ブロック協議会副会長）、井上哲也副会長（同監事）、戸倉茂雄日調連副会長（同理事）、代議員として乗川慎二副会長、清水浩二副会長、白石龍二業務部長、周原稔広報部長、大田浩治センター長、オブザーバーとして大來総務部長、原田財務部長、浦井監事、瀬口顧問以下7名の各理事に加えて表彰を受けられる渡辺剛通会員が出席しました。

1. 日時 平成29年6月30日（金）
議事及びセレモニー（表彰式等）
平成29年7月1日（土）
分科会及び全体会議
2. 会場 「湯田温泉ユウベルホテル松政」
3. 議事
 - 第1号議案 平成28年度事業・会務報告
 - 第2号議案 平成28年度収支決算報告書
承認の件及び監査報告
山口会会費
(540,000円 @2,400×225名)
尚、業務監査について山口会・井上哲也副会長（中プロ監事）より業務監査について、業務改善及び事業計画の執行に、役員全員真摯に努力されている旨が報告された後以上2案は賛成多数にて承認可決された。
 - 第3号議案 平成29年度事業計画（案）

審議の件

- ①中プロ新人研修会を11/17～11/19に広島市において開催することが決定しています。（受講見込対象者28名を予定）
- ②完全オンライン化に向け中プロオンライン推進委員会を中心に対応していく。
- ③ADR特別研修について第13回から最低人員の変更、又考査等については東・西各1か所での開催（日調連からの要望として）など変更がある為、今後の動向については中プロとして出来得る範囲にて対応していく。

以上、賛成中国ブロック協議会会長より説明があった。（抜粋）

第4号議案 平成29年度収支予算（案）

審議の件

山口会会費

(537,600円 @2,400×224名)

以上2案は賛成多数にて承認可決された。

第5号議案 日本土地家屋調査士会連合会中国ブロック協議会会則の一部改正の件

第8条第2項 総会の代議員数の変更

広島会9名 岡山会6名 山口会5名
鳥根会4名 鳥取会4名 に変更

第5号議案については、会則第21条により出席構成員の2/3以上同意を要する旨の説明が議長より為され、採決により承認可決された。

第6号議案 役員改選の件

中プロ協議会会長 杉山浩志会長
 同・事務局長 乗川慎二副会長
 同・会計 大來博康財務部長
 同・参与 戸倉茂雄日調連副会長
 (山口会会員のみを抜粋)

以上、選任されました。

第7号議案 次期開催地決定の件

広島会において開催されることが賛成多数で決定され、広島会松林会長より広島市・ホテルグランヴィアで行ない、2日目は「分科会」を予定する旨を説明された。

以上、滞りなく議事が終了したことをご報告いたします。

4. セレモニー (表彰式等)

議事終了後、広島法務局民事行政部長・小山健治様、日調連会長・岡田潤一郎様をはじめ多くのご来賓の方々のご臨席を賜り盛大にセレモニーが行われました。

尚、山口会からの受賞者は次のとおりです。

【広島法務局長表彰受賞者】 (敬称略)

渡辺剛通 (周南支部) 規程第2条第2号
 中村正美 (下関支部) 同

【中国ブロック協議会会長表彰受賞者】

清水浩二 (下関支部) 規程第3条第2号

沖田信治 (下関支部) 規程第3条第3号

大田雄二郎 (防府支部) 同

小原秀夫 (岩国支部) 同

井上哲也 (岩国支部) 同

表彰式終了後に岡田潤一郎日調連会長から祝辞の中で、冒頭日調連会長に選任されたことへの中プロ協議会への謝辞を述べられたのち土地家屋調査士の業務促進について

①土地家屋調査士のみが資格者代理人となる筆特活用スキム (隣地所有者不明地に特化した制度)

②完全オンライン化に向けた土地家屋調査士の利用促進

等の発信及び環境の変化に適応した者のみ生き残れる社会において日調連として出来得ることをこれからも協力していく決意を述べられた。

2日目の担当者会同 (分科会) においては、各部毎に各单位会からの議題について協議し、全体会議において各部会の協議内容の発表を行ない盛会のうちに全日程を終了しました。

終わりに山口会の関係各位及びご出席いただいた各单位会役員の皆様お疲れ様でした。



杉山会長の挨拶



懇親会 (熱戦! 温泉卓球大会)

平成29年度 支部総会報告

岩国支部定時総会報告

岩国支部 荒川 猛

平成29年度岩国支部総会が平成29年4月21日午後1時より、柳井市アクティブ柳井において、会員数38名中、出席者24名、委任状出席者12名で開催されました。

来賓に県調査士会の杉山浩志会長にお越し頂き、ご祝辞とともに県調査士会の部門ごとの取り巻く状況についてご報告頂きました。そして今年度の新人入会の紹介で安永健士会員、山本裕会員、荒川猛会員の3名が新人挨拶を行いました。続いて会員表彰において、沖廣哲裕会員、西田稔会員、林山正人会員、小原秀夫会員、井上哲也会員の受賞が報告され、後日の山口会定時総会で表彰となりました。受賞者の皆様あらためておめでとうございます。

総会の議事につきましては尾崎友浩議長がスムーズに議事進行し滞りなく終了しました。

最後に新任の支部長に承認されました田村直久支部長より挨拶があり、これからの岩国支部がさらなる発展と団結を宣誓し総会が無事終了となりました。

支部総会終了後、同会場において研修会を行い、夕刻の親睦会では岩国支部の結束力を感じる楽しい宴となりました。



周南支部定時総会報告

周南支部理事 西田泰則

平成29年5月11日午後3時30分から、周南市サンルート徳山において、周南支部定時総会が開催された。

山口地方法務局周南支局から原澤源一支局長、山本基晴統括登記官、濱本一夫表示登記専門官、県調査士会から杉山浩志会長、同政治連盟からは三好一敏氏代理竹安正信会員のご臨席を賜り、各氏より誠に温かい祝辞を頂戴した。

今回、開会に先立って、昨年逝去された故乗川良介顧問に対して黙祷が行われたが、本年の永年功労者表彰の対象には、藤井宏紀会員の他、奇しくも乗川慎二会員が列せられた。

来賓退場の後、総会は議長を選出してほどなく議事に入り、各議題とも粛々と進行採決され、議場は終始静穏を保ってこともなく閉

会した。

恒例の司調合同親睦会は、いつもどおり来賓出席者を交えて和気藹々だったとのことである。



防府支部定時総会報告

防府支部長 前田祐史

平成29年4月28日午後6時から防府市天神の中谷にて定時総会が開催されました。

副支部長（前年度）である私が司会進行のもと吉村支部長の挨拶に始まり、来賓である杉山会長より御挨拶を頂きました。議長は石田会員が選任されました。

会員数15名（出席者14名、委任状1名）

議事の内容については下記の通りです。

- （1）平成28年度事業報告並びに収支決算承認の件（監査報告）
- （2）平成29年度事業計画案並びに収支予算案承認の件
- （3）平成29年度・平成30年度支部役員及び本部役員改選の件
- （4）山口県土地家屋調査士会防府支部慶弔規程改定の件

1号議案では前年度繰越金が約34万近くあったのに、新年度繰越金は約17万になったので節約を求められました。

2号議案では新年度の役員手当が2万5千円増加しているのは何故かと質問を受けましたので、新人役員3人のサポートのため経験役員を副支部長と企画委員に各1名配置しました。そのため役員手当が増加しますと回答し納得が得られました。また世代交代に備えておかないと、防府支部の弱体化に繋がるため新人役員のサポーターは有効だと思います。

3号議案は紛議するのではないかと思います最初に現執行部の配慮として、介護や子育てに忙しいため辞退したい方はいますかと質問しましたが、辞退無しで安堵しました。

4号議案は防府支部らしい慶弔規程改訂案が承認されました。

以上、各議案が承認され平成29年度定時総会が終了しました。



その後の懇親会では、阿部監事が新執行部体制を前田丸と命名・・・

前年度、副支部長であった私は支部長となりました・・・支部長を女房役として緊張感持って支えてきましたが、支部長の業務が分からないため、本会の事務局にフルサポートをお願いしたい気持ちです。前田丸は自律航行システム採用していますが、〇〇艇が船から離脱しないように努力しようと思います。新人役員は新3本の矢ではなく3本の新しい箒として期待しています。

新人役員3名

（左から副支部長、企画委員、企画委員）



山口支部定時総会報告

山口支部副支部長 澤田 誠

平成29年5月12日（金）16時から土地家屋調査士会館にて山口支部定時総会が行われた。（支部会員数 34人 本人出席21名、委任状出席3名）

支部長挨拶で、益田支部長は次のように提案された。山口支部は若返りではなく年功序列の役員人事に戻す時が来た。このままでは役員が枯渇するため規約に則り登録順に役員を担っていただくことにしたい。手始めとして副支部長の人事を年配者である私に決めよう。今年度の活動も例年通り、表示登記の日、杭の日を中心に土地家屋調査士の知名度を上げる活動に取り組む。今年度の総会も順風満帆に議論が進んだ。

総会後は有吉会員（元登記官）による『登記官として、、、』の演題で講演会を開催した。有吉会員は、登記行政を円滑に進めるために少々の事は問題にせず処理を進めてきたそう

で、処理スピードは速かったと思う。又、申請書を手にして、最初に見るのは申請代理人だそうで、申請代理人により確認のレベルを調整されるようだ。要するに、申請人によって確認にかかる時間が違うようだ。今後の登記申請作成において、『この代理人なら間違いないだろう。』と言われるよう気を引き締める時間となった。



萩支部定時総会報告

萩支部長 岡村 匠

平成29年5月12日（金）午後4時より、湯本温泉「大谷山荘」において、支部会員12名のうち9名が出席して支部総会を開催しました。

支部長挨拶に引き続き、来賓にお迎えした清水副会長より「一般市民だけではなく、官公署や各種関係団体等へも調査士の専門性を積極的にアピールしてさらなる利活用をお願いしていく。来るべき高齢化社会に対応するため新たな分野へ進出し、さらなるステップアップも目指す」との杉山会長からの祝辞の代読がありました。

表彰式に続いて、下記議案を審議し、原案どおり承認可決されました。

- 第1号議案 平成28年度事業報告、収支決算報告承認の件
- 第2号議案 平成29年度事業計画（案）、収支予算（案）承認の件
- 第3号議案 役員改選の件

総会終了後、例年どおり司法書士会萩支部との合同懇親会を開催しました。今年は、あいにく簡易裁判所の調停委員の総会が萩市で同日に開催されたため、欠席者が多くいつもより、こじんまりとした懇親会となりました。



宇部支部定時総会報告

宇部支部理事 末富洋一

第70回宇部支部定時総会は、平成29年5月12日（金）午後4時45分より、ANAクラウンプラザホテル宇部にて、会員総数38名のうち33名の出席（本人出席25名、委任状出席8名）で開催されました。

当日は山口地方法務局宇部支局増山和男支局長及び当会杉山会長をご来賓としてお招きし、ご祝辞を賜りました。

総会では、萬代徳次会員が議長に選任され、例年どおり1号議案（平成28年度事業報告、収支決算）、2号議案（平成29年度事業計画、収支予算）は、質疑もなくシャンシャンと可決承認されました。

第3号議案（役員改選）は、毎回のことながら難航。議論が白熱すると、萬代議長の指揮権おかまいなく、誰彼と発言し収拾つかず。

結局は、誰もやりたがらず、阿吽の呼吸（次はそろそろ俺の番かな）なるものも存在しない。当然の如く決まるもの（決めなくてはならないもの）が決まらずという有様。

これではイカン！と、私が入会して以降役員改選のたびに役員選考のルール決めが発議されるも、否決もしくは有耶無耶になし崩しになるだけ。結局、今回もルール決めはされず、最低限向こう2年間の役員は決定されました。（新支部長は豊川奎植会員。以下省略。）

さて、2年後には、また同じことの繰り返し・・・にならぬように、豊川新支部長を中心に、次期総会（2年後ではもう遅い）までにルール作りが求められる。ただ、専門者がいれば他士業兼業者もおり、また仕事量、経験値のみならず年齢、性別、家庭環境、地域環境、健康状況、やる気、元気など人それぞれであり、横一列に適用できるルール作りは困難とも思われる。

ともあれ、「法律家」たる土地家屋調査士先生方であれば、役員選考ルールが支部総会

の場で決められた暁には、例外なくきちんと守っていただけるはず・・・と信じ、微力ながら私も末端支部理事としてルール作りに尽力する所存。

もともと、それでもルールが決まらない、若しくはルールが決まっても頑として従わない会員がおられるようなら、私も諸先輩方を大いに見倣って、潔く今期をもって役員を任期満了退任する所存。

以上、総会報告ならびに私の小さな決意報告でした。

追記

懇親会は三宅泰治宇部公証人他をお招きし、また久々に司法書士会との合同開催。兼業会員も多く大変有り難いことです。経費も浮きますし、また次回も合同でお願いしたいところです。



下関支部定時総会報告

下関支部副支部長 宮崎敏幸

平成29年5月13日（土）午後4時より下関市赤間町の東京第一ホテル下関において下関支部定時総会を開催いたしました。清水支部長からの挨拶の後、米原本会理事が議長に選任され議事に入りました。議事内容は以下のとおりです。

- 第1号議案 平成28年度事業報告・収支決算報告承認の件
- 第2号議案 平成29年度事業計画案・収支予算案承認の件
- 第3号議案 役員任期満了による改選の件

第3号議案では宮崎幸三役員選任委員からの説明により八田新支部長ほか役員の改選案が異議なく承認され、清水支部長が退任の挨拶をされました。他の役職との兼務の中でも全力で会務に取り組み、支部運営にご尽力された2年間であったと思います。ありがとうございました。

午後5時からは、司法書士会下関支部との合同支部総会が開かれました。まずは司調両会の永年功勞の表彰行事がとりおこなわれ、調査士会からは福田真一会員、宮崎幸三会員、

竹田健二会員の三名が表彰を受けられました。

続いて池永真山口地方法務局下関支局長、前田晋太郎下関市長ほか関係各団体の来賓の皆様よりご祝辞を頂戴しました。また、杉山会長からの祝辞を大田浩治本会理事が代読されました。皆様のご祝辞からは、登記制度を取り巻く諸問題の中、空き家対策特措法の活用、所有者不明土地問題の解消や相続情報証明制度の活用による相続登記促進などにあたり、司法書士、土地家屋調査士のより一層の活躍が期待されていることを実感いたしました。

また、役員改選による司調両会の新役員が紹介され、司法書士会の日比野支部長と八田支部長がそれぞれ就任にあたり抱負を述べられました。

午後6時からは合同の懇親会となり、八田支部長が総会の謝辞を述べられたのち、一時間半余りにわたり皆さま和やかにご歓談され、盛会のうちに閉会となりました。

簡単ではありますが以上、平成29年度下関支部定時総会の報告とさせていただきます。



前田 晋太郎 下関市長



池永 真 山口地方法務局下関支局長

本部研修会
報告

平成29年度 第1回本部研修会報告

業務部理事 西村暢夫

日 時：平成29年8月5日（土）
13時30分～16時30分

場 所：カリエンテ山口（山口県婦人教育文化会館）1階大ホール

内 容：筆特活用スキームによる手続き

筆特の現状（実例を題材に、具体的手法、論理構成などの講義）

講 師：山口地方法務局登記部門 小西 真弓総括表示登記専門官

参加者：会員66名、補助者2名、他会7名、弁護士13名 合計88名

暑い日が続く中、第1回本部研修会として山口地方法務局登記部門の小西真弓総括表示登記専門官をお招きして筆特活用スキームを利用した手続きについて講義して頂きました。

今回の研修では、土地の分筆登記等で隣接地所有者が不明な場合に筆界が定まらず分筆登記等が困難な場合に通常の筆界特定の手続きよりも迅速に行うことを目的として筆特活用スキームの活用について学びました。

研修内容といたしましては、前半に筆特活用スキームの手続きの流れを説明して頂き（事前準備調査、意見書、意見書図面の作成等）、後半には今まで筆界特定された事例を用いて説明して頂きました。筆界特定の事例につきましては、何パターンも説明して頂き、時間の都合上質疑応答までの時間がとれませんでしたでしたが、内容の濃いものが多く大変参考になりました。

土地の分筆登記等の申請を行うにあたり隣接地の所有者の所在がわかることにこしたことはないですが、どうしてもわからない場合に筆特活用スキームを活用することにより手続きをスムーズに行うことができ今後の調査士業務の拡大につなげられていけば、良いと思います。

最後にこの研修会を行うにあたり、講師を引き受けて下さった小西真弓総括表示登記専門官、資料を準備して頂きました皆様に感謝申し上げます。



平成29年度 第2回本部研修会報告

境界問題相談センターやまぐち副センター長 浦井義明

平成29年度第2回本部研修会は、平成29年8月31日（木）午後5時30分から午後7時15分まで、カリエンテ山口（山口県婦人教育文化会館）に於いて、山口県弁護士会との合同研修会として「不動産取引と境界紛争」と題して、調査士会員52名、弁護士会員18名、島根会調査士会員1名、総勢71名が参加して行われた。

まず土地家屋調査士林弘運営委員が「境界確定」について、この後の研修会の共通の設例で、調査士業務の境界確定作業を詳細に事例とともに状況説明した。

次に、弁護士中光弘治副センター長が、隣接する土地の所有権の範囲、所有権の争いを事例とする境界紛争に関する研修をした。

講師から、参加者に問いかけをすることで始まった研修会に戸惑う調査士会員がいたり、待ってましたとばかりに持論を展開する弁護士会員もいたり、白熱した研修会であった。

境界確定訴訟に関する、昭和48年の最高裁判例、平成18年の背信的悪意者に関する判例を交えながら、境界確定、時効取得、背信的悪意者、信義則、二重譲渡という言葉が飛び交う研修会説明であった。

また研修会終了後、平成22年から始め、今年で7年目になる恒例の延長研修会懇親会を研修会場近くの、「セントコア山口」にて開催した。

参加者は、調査士会員16名、弁護士会員12名、調査士会事務局職員、島根会会員を含む、計31名にものぼり、程よいアルコールの摂取により、研修会での討議事項の延長、日常業務における懸念事項等、さまざまな議題について、時間の経過も忘れて、自己紹介を交えて一人残らず、参加者全員が何らかの発言、発表を行った。

両会の次を担う世代の心強い研修会であった。



支部だより

平成29年度 岩国支部第1回研修会報告

岩国支部 荒川 猛

平成29年4月21日（金）岩国支部総会が滞りなく終えた後、午後2時15分よりアクティブ柳井2F会議室において、会員21名、補助者2名の計23名が出席して『Google Earthに和紙公図を重ねてみる』を題材に講師に瀬口潤二顧問をお招きして支部研修会を開催しました。

この度の研修会は各会員にGoogle Earth Pro（以下GE・Proと略します。）をダウンロードしたノートパソコンを持参するように事前に連絡があり、瀬口顧問がプロジェクターでGE・Proを映し出し、ほとんどの参加者が自分のノートパソコンで実際にGE・Proを使ってみるという実践的な研修会となりました。

講義はまず昭和40年代の頃から現在に至るまでの重ね図作業の変化についてのご説明があり、昔も今も『重ね図を作成する』という作業が資料調査の工程で重要であるということとを再認識しました。

そして現在の重ね図を作成することができる主なソフトを3点ご紹介頂き、その中でも簡単に導入することができるGE・Proの特徴や機能についてのご説明がありました。

プロジェクターによるGE・Proの事例プレゼンテーションでは、①江戸城の古地図や1936年から1984年までの空中写真の重ね図 ②宇部西高等学校の出前授業の時に使用した和紙公図の重ね図などのプレゼンテーションをしていただきました。差し詰め新人の私としては宇部西高の学生と同じように講義が楽しくて興奮してしまいました。

GE・Proを実際に操作する練習では、和紙

公図の縮尺は約1/600であるということからA3で複写された和紙公図をGE・Pro上で600倍するという発想を教えてくださいました。まずGE・Proの定規の機能を使いA3（297×420mm）の600倍にあたる178.2mと252.0mの巨大なLの字を作成し、そこへイメージオーバーレイの機能を使って和紙公図をLの字の大きさを合わせます。おおよその縮尺をこれによって合わせることができるので、あとはGE・Pro上でイメージオーバーレイの透過度を調整したり回転させたりして現地に合わせていきます。

実は私はこの研修中にこの重ね図のやり方がうまくいかず、個人的にお願いして後日に瀬口顧問の事務所で特別研修をして頂きました。

不具合の解決策はGE・Proの設定でツール内にあるオプションを選択し、『ズーム中の自動傾斜を無効にする』を選択することで、地表が正射画像となり重ね図が容易となりました。GE・Pro自体は複雑な仕組みではないため、何度か重ね図を練習しているうちに私にも操作方法が理解することができました。

和紙公図、14条地図、空中写真、新聞の記事、あらゆる資料を簡単に重ねることができるので、業務の依頼主との打ち合わせやプレゼンテーションに大変有効だと思いました。

最後に瀬口顧問には岩国支部の研修会の講師をして頂き、また研修会後の懇親会にもご参加頂き誠にありがとうございました。個人的な話ですが懇親会の席で私のような新人にもお声をかけて頂き、研修会で理解できな

ったことを伝えると今度教えてあげるから事務所に遊びにおいでよ、とチャンスを頂けたことを本当に感謝しています。重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。



平成29年度 周南支部第1回研修会報告

周南支部支部長 曾根章文

日 時 平成29年5月22日（月）16時より
場 所 山口地方法務局周南支局3階会議室

研修内容 第1部 会員と法務局周南支局との意見交換会
講師 濱本一夫表示登記専門官

第2部 法定相続証明情報について
講師 原澤支局長 他

日頃、業務をするうえで、会員の活発な意

見、質問があり、いずれも非常に内容の濃い充実した研修会であった。



平成29年度 防府支部第1回研修会報告

防府支部企画委員 越智隆次

平成29年6月30日（金）大安
午後14時～午後17時

開催地 防府市栄町1-5-1
RURSUS 第1研修室

研修プログラム

第1部 表示に関する登記研究・workshop

ファシリテーター 篠田 智昭

第2部 近年の筆界特定の事例紹介と質疑応答

山口地方法務局 登記部門

総括表示登記専門官 小西 真弓

参加者 支部会員11名、補助者3名
他支部会員6名

新執行部による現体制となって第1回目の防府支部研修会は、梅雨の合間の晴れ間で、真夏のような暑さの中、月末の大安で多忙な会員が多いにもかかわらず、多数参加して頂きました。

研修は林副支部長の挨拶から始まり、参加者全員で土地家屋調査士倫理綱領を唱和してスタートしました。



第1部の「表示登記に関する登記研究・ワークショップ」では篠田会員が実際に業務のなかで筆界特定を利用した事件について、筆界特定制度を利用するに至った経緯の説明の後、質疑応答、事前に決められたテーマについて参加者で意見を出し合うという形式で進められました。今回は、隣接地所有者が境界確認に応じない場合に業務を完遂するために筆界特定制度を活用したケースということもあり、隣接地所有者への境界立会を依頼する際のアプローチ方法について参加者からさまざまな意見が出ました。



第2部の研修前に小西登記官への支部長挨拶で前田支部長が防府市観光〇会の回し者のように自由詩人、種田山頭火の詩を交えてお話しされました。第2部「近年の筆界特定の事例紹介と質疑応答」は筆界特定の事例を6例（実際は8例の予定でしたが時間の都合でやむを得ず省略）紹介していただき、それについての質疑応答と、事前に支部会員から寄せられた質問に対して答えていただくという形式で進められました。筆界特定について登記官に直接質問できる機会は少ないというこ

ともあり、多くの会員から質問がありました。



今回の研修会は、土地家屋調査士として業務の中で関わる可能性もある「筆界特定制度」についてより理解を深めることを目的としており、参加者の多くが「筆界特定制度」を業務の中で取扱った経験がなく大変有意義な研修会となったのではないかと思います。

また、今回は他支部からの参加も多く、研修の中で他支部会員からの積極的な発言、意見交換があったのも防府支部会員としては刺激を受けました。今後、防府支部から他支部の研修会への参加も積極的にしていきたいと思えます。

研修後に小西登記官を囲んで集合写真を撮影しました。山根企画委員が笑顔なのはカメラマン（補助者の松田さん）がシャッターを切る時に「はい、とーきい」と言ったからか、または研修を執行部側としてやりきった

充実感からか定かではありません。

研修会後の懇親会では、普段なかなかできないお話しを、参加した会員と小西登記官ですることができ、情報交換の良い機会になったのではないのでしょうか。

新年度になり防府支部の執行部のメンバーも若返ったため、至らぬ点多々あるかと思いますが、若い(?)力で防府支部を盛り上げていきたいと思えます。



最後となりましたが、今回の支部研修会のために膨大な資料の準備にご尽力いただきました、秋山法務局長、総務課長並びに法務事務官をはじめ関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。以上



平成29年度 山口支部第1回研修会報告

山口支部企画委員 山根克彦

日時：平成29年5月12日（金）
16時30分～18時00分
場所：土地家屋調査士会館3階会議室
内容：「登記官から調査士に変わって・・・」
講師：有吉 清 山口支部会員
出席者：21名

平成29年5月12日に、山口支部の定時総会後に研修会が開催されました。

講師として元法務局登記官でありました、有吉 清 山口支部会員に「登記官から調査士に変わって・・・」と題し今、調査士となって思うことを話していただきました。

登記官時代の失敗談や登記官であったから

こそこのアドバイスを面白おかしく話していただき、とても有意義な研修会となりました。ここでは書けない裏話もあつたり、調査報告書には「問題点はどこであり、検討した結果どうなった」等、自身で検討した結果を記載して欲しいという具体的なお話もありました。

最後に登記官からも信頼でき、土地家屋調査士としてポリシーを持った方になって欲しいとあり、身が引き締まる思いになりました。

末筆になりましたが、お忙しい時に有吉会員には研修会の講師をしていただき厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



平成29年度 下関支部第1回研修会報告

下関支部企画委員長 百合野崇

平成29年7月13日（木）の午後6時より、平成29年度第1回目の下関支部研修会が行われました。

今回は、「重ね図の作成とGISの業務利用」というテーマで、当支部会員でありGISについて非常に博識な宮崎敏幸会員を講師としてお招きし、GISを利用した日常業務（成果管理、測量事前調査、基準点情報の管理等）について基礎的な知識を再確認するための研修会を行いました。

測量CAD以外にGISソフトウェアを用いて、国土地理院で配信している空中写真と法務局公図重ね合せ、資料調査を行います。GISソフトウェアのサブツールとしてワールドファイル作成システムを制作し、法務局公図（PDF）取得後、約1～2分程度で国土地理院配信の空中写真と公図の重ね図を作成

することができ、現地に行かなくても時間・天気を問わず土地・建物の位置や形状を調査、土地の所在・境界の検討をすることができます。

土地家屋調査士業務の中ではまだまだあまり馴染みのない分野ですが、GISって何なのか？何ができるのか？こんな風に利用できたらいいのでは…？など、常に新しい専門分野の知識・技術の研究と改善を行いながら、支部会員で意見を出し合い、GISの基礎知識～実践型の研修会となりました。

是非、研修で学んだGISの知識・技術を駆使して、さらなる調査士業務円滑のため、重ね図作成を利活用して頂けたらと思っております。



山口地方法務局下関支局と山口県土地家屋調査士会下関支部との協議会の報告

下関支部企画委員 長崎有喜

日中の業務で皆様お疲れのところ、西日のあたる合同庁舎でお互いの意見、要望を聞く協議会を行いました。

【日時】平成29年8月22日（火）午後5時30分から

【場所】下関地方合同庁舎 地下1階大会議室

【出席者】

山口地方法務局下関支局

池永支局長、阿部統括登記官、古谷表専、小川登記官、楠木登記官

山口県土地家屋調査士会下関支部

八田支部長、山崎、宮崎副支部長、百合野、清水、福田、星本、山田理事、中村、中藤、長崎、阿部企画委員

八田支部長挨拶から始まり、古谷表示登記専門官による手馴れた司会により、時には笑い声の出る和やかな、しかし、真剣な雰囲気の中意見交換をしました。

まずは、下関支部からの要望確認事項として、下関市役所で交付される公課証明書や名寄せ帳の写しに現況滅失の記載がされなくなったため、どう対応すべきか支局の見解を求めました。解体後数年経過している場合や解体業者や解体時期も不明となった場合にはやはり聞き取り調査によるしかないという回答

でした。出席者より固定資産台帳に登録されている、又は登録されていないという証明書の発行を下関市にお願いする案も出され、市に期待したいところです。

次に下関支局からの要望事項として、調査報告書に添付する写真にはできれば、筆界線や地番の表記に協力を求められました。記入のない写真だけでは現況の把握が困難となるからとのことでした。印刷した写真に手書きで記入しても構わないとのことでした。遠景の写真など全体像の把握を容易にする工夫が求められました。次に、分筆登記の際に、申請人の分割ラインに対する意思表示の確認として、委任状への地積測量図の添付、調査報告書への申請意思確認の旨の記載、地積測量図への申請人の押印のいずれかを求めているが徹底されていない様なので徹底するようにとのことでした。登記相談については支局としては午後に予約を取ってもらうと対応しやすいとのことでした。午前中は支局としても事務処理効率の高い時間帯であるので理解と協力をとのことでした。

他にも多岐にわたり意見交換が行われ、お互い実りのある協議は終わりました。このような協議を開催するにあたりご尽力くださいました関係者皆様へ感謝致します。その後の懇親会においても親睦を深めることができ、夏の暑い一日を有意義に終えました。

「杭の日」無料相談会の報告

「杭の日」無料相談会 開催場所・件数

日時	場所	件数
9月1日(金) 10:00～15:00	山口地方法務局周南支局 3階会議室 周南市周陽2丁目8-33	6
9月2日(土) 9:00～15:00	サンライフ防府 防府市八王子二丁目8番9号	1
9月1日(金) 9:00～15:00	山口県土地家屋調査士会館 玄関ロビー 山口市惣太夫町2番2号	1
9月2日(土) 10:00～15:00	多世代ふれあいセンター3階 第4講座室 宇部市琴芝町二丁目4番25号	1
9月1日(金) 9:00～15:00	下関市役所 本庁舎新館 1階ロビー 下関市南部町1番1号	4
合計		13

周南会場

周南支部理事 西田泰則

日 時 平成29年9月1日 金曜日
午前10時～午後3時

場 所 山口地方法務局周南支局
3階会議室

相談者 6件（午前4件、午後2件）

相談内容

1 隣地にかかる雨樋について、建替えまで現状維持の合意文書を交わしたが、その後相続・譲渡が生じた場合の対策は？

【回答】 合意内容の申し送りに関する追加文書を交わしておくべき。

2 他人から土地の地目が現況と異なっていると指摘されたが？

【回答】 持参された登記済証には宅地の記載があるので、法務局窓口で確認する。

3 県外の所有地に地籍調査があるが、立会等の手続きに参加しない場合の不利益は？

【回答】 ケースによるが、仮に筆界未定地になった場合、売買・担保設定等の取引に支障を生じる可能性が高い。

4 増築その他の理由により、建物の所在・

地番が異なることになった場合は？

【回答】 通常、表題変更登記を申請する。

5 分筆の結果、所在・地番に異同を生じた建物の家屋番号を、分筆後の所在・地番に合わせたい。

【回答】 増築の経緯があるため、建物の増築と所在の変更を原因として表題変更登記を申請すれば、家屋番号は職権で変更される。

6 自己所有地に他人の倉庫が建っているが、どうしたらいいか？

【回答】 まずは市の税務課に相談。

天気もよく、多数の来場を予想したものの、結果的には計6人と振るわなかった。残暑の影響か？相談内容も特筆するものはなく、いたって平穏な相談会だった。年配の方が多いのは相変わらず。

今後とも広告方法など工夫して、より多くの方のお役に立てるよう精進したい。



防府会場

防府支部副支部長 篠田智昭

日時 平成29年9月2日（土）
午前9時～午後3時
会場 サンライフ防府2階
相談員 7名（午前5名 午後4名）
相談件数 1件

防府支部では9月2日に無料相談会を実施した。天気は快晴で、市内でのお祭りとの日程が重なった事が影響したのか相談件数も1件というさみしい結果に終わったが、相談員にとっては待ち時間に日常業務についての意見交換を行うなど貴重な一日となった。

周知について、PRの方法や相談会の内容等改善の余地があるので、この結果を来年度の相談会の準備に活かして行きたいと思う。

相談内容は以下の通りである。

Q 自宅横の農地に孫が住宅を建てる場合に、どういった手続きが必要か教えて欲しい。また、農地に車を置く場合、何か手続きが必要か？

A 行政書士の手続きと断った上で農地法の許可又は届け出を、住宅建築をする前に申請しなければならないが、建築するのが数年後であるのなら、その時に手続きすれば良い。

農地に車を置く場合も農地法4条の手続きをする必要がある。

相談件数は1件であったが相談員の適切なアドバイスを受け相談者の方は、納得された表情で帰られていた。



山口会場

山口支部副支部長 澤田 誠

日時：平成29年9月1日（金）
午前9時～午後3時

会場：土地家屋調査士会館1階ロビー

相談員：2名

相談者：1名

山口支部は、『杭の日』の無料相談会を9月1日（金）に行いました。山口支部では当番制により、今年度は平岡会員、澤田が相談員を担当しました。

①平成4年に実施された地籍調査について

の相談。（当時立ち会いに出ずに済ませた。その後、地籍図を見ると旧図面と相違していることに気が付いた。その後隣接地所有者が占有してきて道を付け替えて杉を植林した。解決方法を教えて欲しい。）との相談1件でした。

昨年度の相談件数も1件、今年度も1件であり、相談会の告知が足りないのか、相談会の開催時期・場所・回数等、様々な観点から検証する必要性もあるのではと思いました。



宇部会場

宇部支部副支部長 若林 功

日 時 平成29年9月2日（土）
午前10時～午後3時
場 所 宇部市多世代ふれあいセンター
（旧 宇部市シルバーふれあいセンター）
相談員 午前3名 午後3名
相談者 1名

「杭の日」無料相談会を行うにあたり、宇部市の「広報うべ」に掲載しPRしていましたが、事前予約が無く、不安な中での相談会開催となりました。悪い予感が的中し、午前中の相談者が全く無い状態でした。そういうことで会場は相談員同士での情報交換会の場となり、高レベルな研修会の様相を呈していました。相談員にとっては普段聞くことのできない事を知る機会となり、とても有意義な時間となりました。

相談員が交代した午後になっても相談者は無く、今回は相談者『0』かと思っていたのですが、午後1時過ぎに救世主が現れました。山口県土地家屋調査士会のHPから無料相談会の開催を知ったという山陽小野田市にお住まいのご婦人でした。とりあえず1名の相談者が来られたということで、一気に場に安堵の空気が流れたようでした。

相談内容は、相続した自宅土地が長方形の土地だと長年思っていたが、公図（地籍図）を見ると尻尾のような土地がくっ付いていてどうしたものかという相談でした。その部分は道路に沿って幅2m×長さ10m程の土地ですが、長年放ったらかしのため草が生い茂り近隣の住民に迷惑をかけており、またその土地が近隣住民も相談者の土地であると認識しておらず、草刈りもしたくないのでその土地を隣地所有者に譲りたいとのことでした。

隣地は貸家の敷地になっており、道路への出入は反対側にあり特にこの土地を必要としていない状態とのことであり、分筆登記に30～40万円もかけたくないとのことでしたので、①したくなくても草刈りをし、②除草剤を散布し、③現存している境界標にそって1段でもいいのでブロックを築いて自分の土地であることを近隣の住人にも分かるようにしておくといいと回答しておきました。あと最後に一つ。④ブロックを築く時は、間違いがあるといけないので、山陽小野田市の瀬口事務所に確認してもらおうといっておきました。

とにもかくにも相談会は終わりましたが、次回は事前PRの方法、開催場所をもっと考えてみようとの反省をもって解散しました。



下関会場

下関支部理事 福田真也

日時 平成29年9月1日（金）午前9時から午後3時まで
場所 下関市役所 本庁舎新館1階ロビー
相談員 午前2名 午後2名
相談者 午前2名 午後2名

下関市役所本庁舎新館1階ロビーにて「杭の日」無料相談会を行いました。

相談内容は、隣接地との境界に関する相談が2件、相続（贈与）に伴う事前の境界確認の必要性に関する相談が1件、山地番耕地番についての質問が1件の計4件でした。

各相談員は、時間をかけて慎重にお話を伺

い、分かりやすく丁寧に説明をさせていただきました。安心、納得して席を立たれる相談者が多かったように見受けられました。

相談者は所用で来庁した際にポスターや看板が目に入ったので、ついでに相談という感じで相談目的の来庁ではないなど若干のPR不足を感じました。

今回来られた相談者に答えて頂いたアンケートを分析して、次回の「杭の日」無料相談会のPRに役立てていこうと思います。

簡単ではありますが、以上をもって報告に代えさせていただきます。



各部紹介

総務部

今期から総務部長をさせていただくことになりました。災害支援協定や相談苦情対応など前期の財務部とはひと味違う会務に少々戸惑い気味ですが、総務エキスパートの乗川副会長と内田理事、最初から総務を希望されていた頼もしい大下理事、そして誰にでも臆せず意見の言える心強い事務局の方々に支えていただきながら、会務に取り組んでいきますので、2年間よろしくお願いたします。

(大來常任理事より)



左から 乗川慎二副会長、杉山浩志会長、大來博康部長、大下竜司部員、内田博司部員

財務部

今期財務部は、清水担当副会長のもと、原田、山崎2名が運営して参ります。

山口会の収入は、皆様からお預かりする会費等で運営されています。収入と支出のバランスの取れた予算の計画と執行を行います。経費の削減方法を検討し、各事業においても計画的で優先性・効率性に配慮した執行がなされるよう各部とも協議し検討して参ります。

特に、会員数の減少に伴う会費収入減が予想されるため会館維持シミュレーションを行い検討して参ります。

(原田常任理事より)



左から 清水浩二副会長、杉山浩志会長、原田英樹部長、山崎義文部員

業務部・社会事業部

この度、部長になりました白石です。私自身、2期目となりますので、より良い研修等行えるよう精進したいと思います。今期は、業務のスペシャリスト井上副会長をはじめ、小原理事、永瀬理事、西村理事で業務を行っていきます。

会員の皆さんの日常業務に役立つ研修会を行いたいと思います。

2年間よろしくお願いたします。

(白石常任理事より)



左から 井上哲也副会長、杉山浩志会長、白石龍二部長、永瀬勝博部員、西村暢夫部員、小原秀夫部員

広 報 部

今期広報部長に再任されましたが、広報部としてはメンバーが刷新されてのスタートとなります。会報誌発行はもとより会員皆様が一人一人広報部員であることを念願し広報活動の発信をしていきたく思っております。

清水広報担当副会長をはじめ伊藤理事、宮崎理事という強力メンバーに加え、引続き事務局の方々のサポートを仰ぎながら、会員ファーストの広報活動を目指していきたく思います。

2年間よろしくお願ひします。

(周原常任理事より)



左から 伊藤正典部員、清水副会長、杉山浩志会長、周原稔部長、宮崎敏幸部長

境界問題相談センターやまぐち

センターでは、一般の方から寄せられる境界問題に随時対応していますが、法務局・弁護士会との三者合同による無料相談会「境界問題相談所」を昨年からはじめました。偶数月に1回、山口地方法務局で開きます。詳しくは事務局にお問い合わせください。ADR法による法務大臣認証の取得に向けての作業も着々と進めています。相談員・調停員のスキルアップを目指す研修会も実施します。奮ってご参加ください。

(大田センター長より)



左から 林運営委員、杉山会長、大田センター長、浦井副センター長

財産管理人支援センター

本センターは、昨年度、不動産公的管理センター準備委員会として検討し、今年度定時総会で、第2号議案で、今年度中の設立が承認されたもので、8月29日 杉山会長から4名の運営委員が召集され第一回運営委員会が開催されました。

会議では、準備委員会で検討した事項の報告と、委員長に瀬口潤二、副委員長に山根克彦を選出しました。

今後は、家庭裁判所へ提出する管財人候補者名簿への募集要項の作成に向けて弁護士会員との連携形態等の検討を進め、今年度内の設立を目指したいと考えています。山口県土地家屋調査士会会員のスキルアップを基礎とした社会的要望に応えるべく頑張っております。会員各位の温かいご協力とご支援をお願いします。

(瀬口運営委員長より)



左から 白石運営委員、山根運営副委員長、瀬口運営委員長、中山顧問弁護士、杉山会長

山林地図検討委員会

平成24年度から始まった山林地図検討委員会ですが、平成25年度に山口市宮野地区をモデル地区としての中間報告会を本部研修会の中で開催しました。平成26年度には、山口市内各交流センターにて約12,000枚のスキャンを完了し、平成27年度には、山口県内の全市町を訪問し保管状況の確認をしましたが、保管状況が不明な市町が大半であり県内全域の山林地図の収集は断念せざるを得なくなりました。

平成28年度に法務局が保管する山林地図のコピーをスキャンさせていただき協議が整い、山口本局にて約11,000枚、萩支局にて13,000枚のスキャンが完了しているところです。

今期中には、周南支局にて6,000枚、下関支局にて1,000枚、宇部支局にて23,000枚のスキャンを完了し、収集した山林地図のデータを整理し、会員の皆様方に提供できるような体制を整える計画です。

(井上委員長より)



左から 古江直樹委員、井上哲也委員長、渡邊英雅副委員長、山崎耕右アドバイザー、右上 澤本貴裕委員

山口法律関連士業 ネットワーク

山口法律関連士業ネットワーク定期大会の報告

広報部理事 宮崎敏幸

平成29年7月14日（金）山口市のホテルニュータナカに於いて、今年度は山口県土地家屋調査士会が当番会となり、山口法律関連士業ネットワーク定期大会を開催いたしました。山口会からは同ネットワーク理事長を務められる杉山浩志会長以下11名が参加しております。

1、定期大会 16：00～16：30

杉山理事長の挨拶、各理事紹介の後、①平成28年度事業報告および決算報告、②平成28年度監査報告、③平成29年度事業計画および収支予算報告が行われました。なお平成29年度の事業計画としては定期大会の開催、共同相談会の開催、大規模災害時の応援協定に係る応援、参加各団体の専門性を活かした研修会・研究会・発表会の開催、各士業間との連絡・情報交換・地域社会貢献等が挙げられております。



2、講演会 16：30～18：00

演題：「新しい時代への試み」～過去の紙の資料をインターネットの情報と重ねてみる～

講師：山口県土地家屋調査士会

顧問 瀬口潤二氏

Google社の提供するGoogle Earth Proというソフトを用いて、同ソフトの提供する詳細な正射画像や3Dモデルに、古地図・和紙公図・過去の空中写真等の画像データを重ね合わせる手法につき、具体的な操作方法の解説と、出前授業や実務利用での例を交えつつ講演されました。公図をはじめ様々な種類の資

料を重ね合わせ、情報収集・分析に用いる技法は、我々の業務においては必須・必修であることは間違いなく、新しい技術や情報、ソフトの応用につき常にアンテナを張り、学習を行っていくことの重要性を再認識いたしました。



3、懇親会 18：10～20：00

次回当番会となる山口県不動産鑑定士協合理事中野様の乾杯のご発声により懇親会が開始されました。多数のご来賓と各士業8団体から計70名が参加し、皆さま士業の枠を超え、和やかに交流・歓談されたようで、大変盛会のうちに中締めとなりました。

以上簡単ではありますが、山口法律関連士業ネットワーク定期大会の報告とさせていただきます。



『第8回 全国一斉不動産表示登記無料相談会』の報告

広報部理事 伊藤正典

開催日時 平成29年7月31日(月)
午前10時～午後5時
会場 山口県土地家屋調査士会館
相談員 広報部員4名
山口地方法務局 登記部門 1名
相談件数 8件
相談内容

- ① 山口市在住 男性(60代)
山口市広報紙
亡義父名義で義母と娘の関係の相続について(共有がよいか、娘の単有がよいか?)
※ 家族内で協議をし、司法書士に相談するよう回答。
- ② 山口市在住 男性(90代)
サンデー山口紙
仮登記の抹消について
※ 司法書士に相談するよう回答。
- ③ 山口市在住 男性(80代)
サンデー山口紙
県から購入した土地が登記面積と実測面積に違いがありそうだがその対応は……。
※ 土地家屋調査士に相談のうえ手続きをするよう回答。
- ④ 下関市在住 男性(40代)
本会ホームページ
共有地の境界について(電話にて相談)
※ 後日再度相談。
- ⑤ 山口市阿東在住 男性
山口市広報紙
隣の土地と交換予定地に抵当権がついているが、このままでよいのか?

また、自分の土地に古い(大正時代)抵当権があるが消せるか。

※ 司法書士に相談するよう回答。

- ⑥ 福岡市在住 男性(60代)
本会ホームページ
自分名義の土地(山口市内所有地)を隣接者に売却予定であるが、他の隣接者と立会ったところ公図と相違する。どうする方法があるか。
※ 売主責任もあり、本来土地家屋調査士の仕事でもあるので、費用等を含めよく相談のうえ依頼をするほうがよいと回答。
- ⑦ 山口市在住 女性(80代)
サンデー山口紙
自己所有地(畑)に隣接する水路(溝)があるが境界等不明とのこと。尚、境界標(杭)らしき物があるが資料(公図等)もなく、まずその水路が法定外公共物か又は私有地の水路かはっきりしない。
※ 現地の状況が把握できず、質問には一応の回答をするも、やはり地元の土地家屋調査士に再度相談をするよう回答。
- ⑧ 山口市在住 女性(50代)
山口市広報紙
山口市内に土地建物を母と共有(各1/2)、母は大阪在住、自分の名義にしたいが。
※ 一度自宅に帰って固定資産通知書を持参してもらい、評価額を見ながら説明。

1. 贈与の方法（贈与税額の計算）
2. 相続の説明
金額等の検討をし、最終的には司法書士に相談するよう回答。

不動産表示登記相談会の情報

市町村広報紙への掲載依頼。
サンデー山口への相談会案内（ローカル紙）。
ポスター。
土地家屋調査士会のホームページ。

相談会を終えて

今回、市町村広報紙及びローカル紙に相談会の案内を掲載して頂いたことで相談者が多数であった。

年齢的にはやはり高齢の方が多く、不動産等に対する関心の高さがうかがえる。

特に、相続・贈与関係の相談が多く感じられた。



事務所紹介



周南支部

大下竜司 事務所

光市大字光井509番地 7

おおしたりゅうじ
会員氏名 **大下 竜司**

Q. 家族構成について教えてください。

私は、いまだに独身で実家に居候しています。
両親・姉と同居しています。



Q. 事務所の所在地について教えてください。

実家の横のスペースにスーパーハウスを置いて事務所になっています。

国道188号線から事務所にこられる人には、ナフコとアルクがある県道に入って進み光スポーツ公園の入り口から少し進んだところにある消火栓の標識の手前を左折して橋を渡って右折して少し進んだところにある鮎新自治会館の横です。と説明していますが、ほとんどの人が通りすぎて、電話がかかってくる。説明はあきらめて、県道まで出て行って案内しています。



Q. 調査士になったきっかけは？

楽しかった大学生活が終わった平成8年、就職氷河期でしたが、なんとか某車メーカー販売会社に就職しました。しかし一年後、飛び込み営業が中心で精神的につらくなり、転職を考えていた時に知人から紹介されたのが土地家屋調査士の曾根先生の事務所でした。とにかく転職したかったので、何をやる仕事なのか理解しないでお世話になることを決めました。が…、しかし…、土地家屋調査士業務の知識ゼロのため、法務局？登記？測量？境界確認？何を説明されても分からないことばかりでした。こんな状態で仕事できるのかと不安になったのを思い出します。曾根先生が忍耐強かったのと、前職の車屋の先輩に、次もいやで転職考えるなよ、転職癖がついて駄目になるからと諭されたことを思い出し、少しずつ理解しながら続けることができました、この時は、自分で土地家屋調査士をやるとは夢にも思っていませんでした。時が過ぎ30歳になり、なんとなく、土地家屋調査士資格の試験を受けてみようかなと思い、まず、測量士補の勉強から始めて、平成15年（31歳）に合格できました。それから土地家屋調査士の勉強を始めて、平成17年（33歳）に合格しました。この時もまだ、独立しようとは考えていませんでした。平成20年4月、曾根先生の事務所をやめてから、いろいろな人に相談し、リーマンショック真っ只中の平成20年8月（36歳）に土地家屋調査士の登録をしました。

Q. 調査士業務の中で一番印象にのこっていることは？

最初の測量の仕事です。不動産会社から境界確認の依頼を受け、所有者、隣接者と挨拶に伺った時に緊張して名刺を持つ手が震えたことを思い出します。

最初の挨拶が一番大事と思っていますので、今でも緊張しまくりです。

Q. 使用している光波、測量ソフト等を教えてください。

測量ソフト - 福井コンピュータ BLUETRENDO XA Ver7

トータルステーション - SOKKIA SRX5S

福井コンピュータは、年間保守を2年間切っていたことがあるのですが、WindowsXPの関係でパソコンを買い換えることに…、また年間保守に入ろうとすると、過去2年間と、これからの1年の計3年分の年間保守料金を払わされることに…。

Q. 休日の過ごし方について教えてください。

光市は自然がいっぱいで、アウトドアを楽しむのには最高のところですが、一人であることが好きな私は自分の部屋でボーと過ごしていることが多いです。

Q. 最後に

これからどのような社会になっていくのか分かりませんが、しっかり勉強して、時代に取り残されないように頑張っていきたいと思います。

山口支部

大森淳一 事務所

山口市矢原1432番地 5



会員氏名 おおもりじゅんいち
大森 淳一

Q. 家族構成

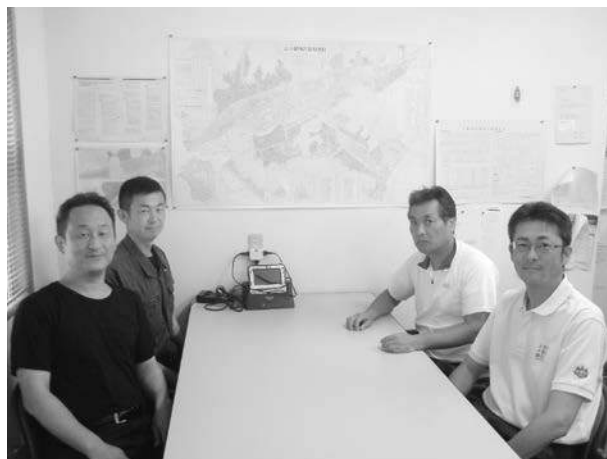
私、妻、長男（小4）の3人家族です。たまに長男から算数の質問を受けます。

しょうがないなあ〜と、えらそうに見てあげますが、解けません……。子供の頃こんなに難しかったかな……。角度を求める問題だったのですが、そこは土地家屋調査士。

CADで絵を書いて角度を求めるという暴挙に出て、家族から冷たい目で見られております。

Q. 事務所スタッフ

私の所は合同事務所で、和田先生、大來先生、補助者の齊藤さんと共に、4人で頑張っております。



Q. 事務所所在地

山口市矢原1432番地 5

山口市立大歳小学校の隣に位置しています。事務所と自宅が3分の距離で便利ですが、朝、夕は歩道の無い道路に小学生がたくさん登下校しており、車の運転には気を遣います。狭い事務所に男4人という華のない事務所ですが、皆気さくな人ばかりですので、お気軽にお寄りください。

Q. 調査士になったきっかけ

私はハウスメーカーで13年間営業をしていました。営業として、お客様の一生の家の担当をするにあたり、色々な問題が発生することもしばしばです。当然、土地に関する問題も多く、その時には当時、業務をお願いしていた土地家屋調査士の先生の方々に大変助けて頂いたことを覚えています。営業時代はガッツと人あたりを武器に問題解決に向けて頑張っていました



が、土地家屋調査士の先生方はガッツと人あたりと、さらに営業マンではかなわない土地建物に関する幅広い知識と経験があります。お客様が営業とは違う感覚で土地家屋調査士の先生に感謝される姿をみて、嫉妬という大変ですが自分も営業時代にはあまり縁のない、法に関する知識を身に着けたいと思うようになりました。今まで営業として住宅関係に携わってきたことを今度は土地家屋調査士という立場で関わってみたい、そんな思いから人生は一度、思い切って勉強を始めようと決心しました。当時は35歳で、あまりのんびり出来ない思いから勉強と合わせて実務も同時に習いたいと考え、お世話になった先生方の一人である和田先生に何とかお願いしてお邪魔させて頂くようになり現在に至っております。

Q. 調査士業務の中で一番印象に残っていること

開業して最初の分筆登記です。初めての境界立会で緊張していたら、いきなり隣接の方が「私の土地の境界はここだ」と自分が集めた資料からは想像できない位置を主張してきました。もうその時点で頭が真っ白になりましたが、気持ちを落ち着かせ、説明を丁寧に行いました。業務は無事に完了しましたが、「調査士として、初めての立会だ。頑張ろう。」とドラマの主人公みたいな気持ちにひたって、気が抜けていた矢先の出来事で今でも覚えています。懐を大きく、冷静な状況判断ができるよう、精進しないといけないと強く思いました。

Q. 休日の過ごし方

休日がとれるときは、お昼の明るいときにビールを飲むのが楽しみです（チープですが…）。スーパーに行って惣菜を買ってきます。外の明るい景色を見ながら、「贅沢だなあ」と気持ちがリフレッシュできます。悲しいリフレッシュ方法なので、体を動かすことも考えないといけないと思っている今日この頃です。また家族の時間が取れる時は、家族全員でドライブに出かけます。行先は子供中心です。子供のおかげでインドア派の自分では行かないような所に逆に連れて行ってもらっている感じ、それがすごくリフレッシュ出来る時があり子供に感謝すると共に、また仕事を頑張るぞという気持ちが湧いてきます。



親睦クラブの活動

さて、馬関まつりです

まつり同好会 山田篤志

下関市で毎年夏の恒例となっております、馬関まつりに今年も出店です。二日間の参加メンバーは、八田・清水・宮崎・ほっしー・百合野崇・阿部・山田・あやちゃん・こうた君です。



出店の様子、テント新調しました

おっと、みんなでべったりお店で重労働、おらおら稼ぐぞー、ではありません。土地家屋調査士のPRを目的とし、横のつながりを広げようと都合の良い時間に自由にやっております。みなさん何年もやっておりますので、スムーズな運営です。ぜひ下関支部会員（補助者、関係者）はもちろん、他支部の方にも参加していただきたいです。遊福旅館に泊まると良いでしょう。

さて、出店内容はおなじみの「わたがし」、
「光るおもちゃ」です。わたがしは私が言う



楽しいですよ

のもなんですが、技術が必要です。経験が必要なのは。そのへんの若造が1日のできるものではありません。ですので、わたがしは職人にまかせて私はサポートに徹します。上手く作れると子供たちから歓声があがります♪



うちの代表です

毎年大体同じ場所でお店を開いていますので、知り合いもたくさん来ていただいております。差し入れてくださった皆様、本当にありがとうございます

ございました。

さあみなさん、来年は一緒に楽しみたくなりましたね？お気軽にお問い合わせください。



平家踊りするうちの責任者左とガチャピン

山口青調会の活動

第8回山口青調会定時総会の報告

山口青調会幹事 平井隆雄

日 時：平成29年5月25日（木）
午後6時30分開会

場 所：居酒屋土火土火 山口湯田店

出席者：28名（正会員総数 35名）

議 事：第1号議案 平成28度事業報告・収支決算報告承認の件
第2号議案 平成29度事業計画案・収支予算案承認の件

新入会員の紹介

上記のとおり第8回山口青調会定時総会が開催されました。

本会定時総会の前日にもかかわらず、多数の会員の皆さんにご出席いただきました。

今年は上記の通り、居酒屋開催ということもあり、机に並べられた食事が気になったのか、過去の総会に比べて最短で終わった気がします。

一人で全部頑張った百合野氏の噛み噛みの司会の成果でしょう。

青調会に関しては、去年今年と新入会員も入り、自己紹介も兼ねた挨拶をされました。個人的に岩国支部から入会者が増えた事は大変嬉しく思います。

今年度も青調会としては、宮崎会長の元、色々な行事を予定しております。会員の勉強はもちろん、会員同士の親睦を深めるのが目的でもあります。

私個人としても青調会で知り合った会員に、仕事の事プライベートの事など色々と相談しております。それはこの会があったからこそ、そうやって他支部の方とお付き合いができているのだと実感しております。

青調会の目的は人それぞれだと思います。私たちは普段一人ですが、35名も仲間がいて困った時に助けてくれる。本当に心強い会ではないでしょうか。

8年目山口青調会（戦艦 宮崎）に期待して下さい。



九州ブロック青年土地家屋調査士会福岡大会

山口青調会 会長 宮崎敏幸

平成29年7月8日、山笠で彩られる街福岡で開催されました九州ブロック青年土地家屋調査士会福岡大会へ参加して参りました。参加メンバーは大来さん、山根さん、星本さん、山田さん、白石さん、そしてこの私宮崎の六名です。三日前から九州北部地方を襲った豪雨災害の影響が心配でしたが、高速道路の通行止めも解除され無事に博多入りした我々は、キャナルシティ内にある超有名ラーメン店「一蘭」にて腹ごしらえののち、会場入りしました。

いまさらこの超有名店について私ごときが解説する必要は無いとは思いますが、なぜかこのお店だけは黒くて四角い「重箱型」の丼(?)で供されるのです。確かに味は大変美味しいのですが、不思議と丼の形状が変わるだけで何か未来の食べ物を食べているような気にさえなってきます。

さて、九州ブロック大会は本来であれば昨年度開催予定だったのですが、熊本地震の影響を考慮し延期され、約二年ぶりの開催となりました。それでも九州各地ならびに全国各地から100名以上の調査士が参加されたとのこと。大会の冒頭にはふくおか青調会有馬会長の挨拶ののち、熊本青調会の方たちから震災支援へのお礼もありました。



宮崎会 児玉勝平先生の講演

大会の第一部は宮崎会の児玉勝平先生による「情報化社会と土地家屋調査士の将来」と題した講演でした。GPS・ドローン等による位置情報取得の簡易化・高速化、また高度な情報化や人工知能の発達による「仕事」の自動化、それに伴う社会情勢・法制度の変化に対し我々土地家屋調査士がどのように対応していくべきなのかということについて、政治的視点や連合会理事を務められた経験も踏まえつつお話をいただきました。隣県の会長N村さんも「頭から湯気が出そう」評するほど深くて難しい内容でした。最近話題になることも多いAIの発達により無くなる仕事、残る仕事を予測する幾多のメディアの記事中に調査士の「ちょ」の字も出てこない実情を踏まえつつ、この先我々の出来ること、しなければならないことを考え、社会



熱気あふれる懇親会

の変化と国民のニーズとに真摯に向き合う必要があるのではないのでしょうか。狭い衝立の中で他人と仕切られ、店員の顔も見えず、客は一切声を出す必要もなく供される黒くて四角い器の蓋を開けたときに、我々調査士はどのような姿で、どのような味でそこに現れるべきなのか…。ちなみに一蘭では個々の味の好みや追加注文にもきめ細かく対応しておられます。

失礼、第二部は中洲にある日本料理店での懇親会です。大勢の調査士がみっちり座敷に集い、クーラーも全く効かないほどの、ものすごい熱気でした。お土産にいただいたオリジナルの扇子がととても有り難かったです。ベテラン(?)の仲居さんたちが走り回る中、ビールを注ぎあい、明太イワシなどに舌鼓を打ちつつ大変賑やかな懇親会でした。また、参加各県の代表者から一言ということで私もビール飲みすぎてキョロキョロしながら訳のわからない挨拶をしてきました。お恥ずかしい。



四角い箱に入ったラーメン

来年度、九州ブロックには大分県にも青調会が発足し、その大分会が次回の九州ブロック大会を主催されることが決定したようです。山口会の皆さんも是非、九州の濃い調査士の方々と交流の機会をもってみてはいかがでしょうか。

さて、今回の締めめのラーメン（またか）ですが、地元の方にリサーチした結果、中洲にある「一幸舎」というお店へ。いかにもスタンダードな博多豚骨といった趣で、一蘭と比べると少し豚骨独特の臭みのあるスープ。はっきり言って嫌いな人はこれが嫌いなのでしょうけど、私は好きです。食べた後でちょっと後悔しますが…。焼ラーメンのボリュームに苦しむ星本さんの横で完食。その直前に焼き鳥とハイボールもお腹に収めていることは嫁にはナイショです。

そうそう、9月16日には広島で中国ブロック青調会大会も開催されます。九州の皆さんの熱気に負けぬよう、中国ブロックでも交流の輪がどんどん広まってくると良いと願っております。その様子はまた次回会報記事にてご報告させていただければと思います。

今回も大会準備にご尽力いただいたふくおか青調会ならびに各県の皆さま、児玉先生、そして山口から参加された皆様に厚くお礼申し上げます。ごちそうさまでした。



見事な締め込み姿の昇き手さん

山口青調会勉強会の報告

山口青調会 副会長 山根克彦

「人の第一印象は会って何秒で決まるとお思いますか？」

平成29年7月22日（土）山口市におきまして、山口青調会勉強会を『調査士として知っておきたい接遇マナー』をテーマに、アイスリー代表小森真白様（お名前が素敵ですね）をお迎えして行いました。参加者は会員の6割である22名と関心があるテーマとなったのではないのでしょうか。

冒頭はそのときに投げかけられた質問です。これ、たった6秒で決まるみたいですよ。しかも、悪い印象を与えてしまったら8回好印象を与えないと回復しないんですって。



（口角を上げてます！）

私たち調査士は、必ずと言って良いほど人と接しないといけません。この事を聞いた時に第一印象で仕事が決まる！ほどの重要性を知りました。

では、好印象を与えるにはどういったことに気をつければよいの？接遇のポイントは？

2人一組になってロールプレイをしたり、アクションをしたりして、面白くそして為になる勉強会となりました。

途中、用事があり遅れて乱入して来られた方は、Tシャツ（ロゴが「SEA」）、短パン、サンダル…。他の会員はスーツ姿にきちんとした私服だったんで

すがね。Y野さんらしい一面でした。

勉強会のあとは会員相互の親睦を深めることを口実に防長苑にて生ビールまつりです。

生ビールに瓦そば、ステーキなどをほおぼり日ごろの疑問や何気ない会話を楽しみながら親交を深められたんじゃないでしょうか。

途中にはジャンケン大会で盛り上がり、私はデコピンの再来があったりで、楽しい一時を過ごしました。

山口青調会は違った視点でのスキルアップを目指し、勉強会のテーマを決めています。今回の勉強会も「選んでもらう調査士として知っておきたい接遇マナー」となりました。知っていると知らないでは大きく違うのではないかと感じました。

最後に講師の小森先生には、山口までお越しいただき、有意義なご講演をありがとうございました。第2回もあります、よろしくお願ひ致します。



（意外と盛り上がるジャンケン大会）

会員の作るページ

葦山反射炉

萩支部 廣石 勝

この反射炉は、西洋船に対抗できる大型の大砲を製造するための設備として作られ、1857（安政4）年に完成した。本体は、高さ15.7m、連双2基4炉、外部は伊豆石・内部は耐火煉瓦積。

幕府の威信をかけた国家の一大プロジェクトであった。時期はペリーが来航し、明治維新に向けて世の中が大きく動き始める前であった。海防体制の強化が必要とされたときであった。

この反射炉は、江川太郎左衛門英龍が作った。「太郎左衛門」は代々の江川家の当主が

名乗った名で、英龍は36代の当主で、地元では、坦庵（たんなん）で親しまれている。江川家は、幕府の直轄地（伊豆、駿河、相模、多摩）を統治する葦山代官を世襲する家系であった。他にも、東京湾に品川台場を築いている。

萩の反射炉は実験炉であるのに対し、ここ葦山の反射炉は実用炉・実際に使用した炉とすることが大きな違いである。

それにしても、大変、綺麗な堂々とした、立派な遺産である。



事務局だより

会員異動状況

1. 会員入会状況

	ふりがな 氏名 (生年月日)	入会 年月日	事務所	TEL	FAX
	むらた じゅん 村田 淳 (S43.2.23)	H29.6.1	〒755-0062 宇部市鵜の島町7番25号	(0836) 37-4144	(0836) 37-4154

◆新入会員よりひとこと

村田 淳 会員

この度、20年以上にわたる補助者期間を経て山口会に入会させていただきました、村田淳と申します。
永年の補助者経験に甘んずることなく、粉骨砕身して本職としての職責を果たしていく所存です。諸先輩・事務局の皆様におかれましては折に触れてご教授を賜りますよう、お願い申し上げます。

2. 会員退会状況

支部	地区	氏名	退会年月日	備考
下関	下関	高田 吉雄	H29.6.25	廃業

3. 会員数

平成29年9月1日現在会員数 会員数 224 法人数 3

4. 事務所変更

支部	氏名	変更 年月日	変更後		
			事務所	TEL	FAX
下関	福田 幸秀	H29.6.29	〒752-0962 下関市長府安養寺二丁目3番11号	(070) 3789-2600	(083) 256-7372
山口	本光 誠也	H29.9.1	〒753-0074 山口市中央三丁目2番30号YKビル4F	-	-
周南	藤本 栄子	H29.9.1	〒745-0025 周南市築港町5番5号	-	-

会務報告

開催日	会 務	場 所
5月11日(木)	周南支部総会	周 南 市
	萩市との災害時における支援協力に関する協定書締結調印式についての打合せ	萩 市
5月12日(金)	宇部支部総会	宇 部 市
	萩支部総会	長 門 市
	山口支部総会	調 査 士 会 館
5月13日(土)	下関支部総会	下 関 市
	中国ブロック協議会監査会・役員会	鳥 取 市
5月17日(水)	萩市との災害時における支援協力に関する協定書締結調印式	萩 市
5月25日(木)	定時総会打合せ会	調 査 士 会 館
5月26日(金)	第70回定時総会	山 口 市
5月27日(土)	司法書士会定時総会	山 口 市
	行政書士会定時総会	山 口 市
5月29日(月)	正副会長会議	調 査 士 会 館
6月6日(火)	第2回理事会	調 査 士 会 館
	支部長会・選挙管理委員会	調 査 士 会 館
	役員合同会議	調 査 士 会 館
6月8日(木)	山口法律関連士業ネットワーク理事会	調 査 士 会 館
6月9日(金)	登録証交付式	調 査 士 会 館
	山口県社会保険労務士会通常総会	山 口 市
6月13日(火)	第1回境界問題相談センター運営委員会	調 査 士 会 館
6月14日(水)	第1回境界問題相談センター認証取得準備会議	調 査 士 会 館
	境界問題相談所開設	山口地方法務局
6月15日(木)	業務部会	調 査 士 会 館
6月16日(金)	公嘱協会第7回理事会	調 査 士 会 館
6月20・21日(火・水)	日調連第74回定時総会	東 京 都
6月30日(金)	中国ブロック協議会第60回定例総会	山 口 市
7月1日(土)	中国ブロック協議会担当者会同	山 口 市
7月4日(火)	第1回総務部会	調 査 士 会 館
	会則第105条に基づく調査	調 査 士 会 館
	土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規定による調査についての協議	山口地方法務局
7月6日(木)	第1回財務部会	調 査 士 会 館
	第1回広報部会	調 査 士 会 館
7月14日(金)	山口法律関連士業ネットワーク定期大会	山 口 市
7月22日(土)	中国ブロック協議会役員会・事務引継	鳥 取 市
7月27日(木)	正副会長会議	調 査 士 会 館
7月31日(月)	全国一斉「不動産表示登記無料相談会」	調 査 士 会 館
8月4・5日(金・土)	第2回境界問題相談センター認証取得準備会議	調 査 士 会 館
8月5日(土)	第1回本部研修会	山 口 市
8月8日(火)	第2回業務部会	調 査 士 会 館
	支部役員と本会業務部との協議会	調 査 士 会 館
8月9日(水)	境界問題相談所開設	山口地方法務局
8月18日(金)	山口県土地家屋調査士会館賃貸借に関する協議会	調 査 士 会 館
	第2回常任理事会	調 査 士 会 館
8月25日(金)	公嘱協会通常総会	山 口 市
8月28日(月)	第2回境界問題相談センター運営委員会	調 査 士 会 館
8月29日(火)	財産管理人支援センター運営委員会	調 査 士 会 館
8月31日(木)	会報編集会議	調 査 士 会 館
	第3回理事会	山 口 市
	第2回本部研修会	山 口 市

土地家屋調査士オリジナルウェア 助成実施中！！

鹿児島会が作製した、土地家屋調査士オリジナルウェアの購入に際し、今年度も、昨年度に引き続き、カタログ定価の2割を会で助成します。

「土地家屋調査士」とスタイリッシュなロゴが入ったポロシャツや作業着は、立会の際など、土地家屋調査士であることが分かりやすいと好評です。

カタログ、注文書はホームページの会員のページにアップされています。事務局にもございますので、お気軽にお問い合わせください。

この機会にぜひお買い求めいただきますよう、ご案内いたします。



広報部より

編集後記

前期に引き続き、広報部を担当させていただき会報に携わるようになり3年目を迎えました。

出前授業を通じて広報活動を継続して行っておりますが、依然、広報活動が足りないように感じます。今年度もオリジナルウェアの助成金を継続しておりますので、会員の皆様、この機会を利用して、是非ロゴ入りウェアと一緒に広報活動をして行きましょう！

会報を通じて会員の皆様にもっと土地家屋調査士に関心を持ってもらい、会員の皆様と共に会報を作り上げられればと考えておりますので、引き続き会報記事の提供のご協力をお願い致します。そして、この会報を通じて、仲間の活動に少しでも興味を持って会報記事を読んで頂きたいと思っております。

(広報担当副会長 清水)

発行 山口県土地家屋調査士会
〒753-0042 山口市惣太夫町2番2号
電話 (083) 922-5975
FAX (083) 925-8552
ホームページ <http://www.chousashi.net/>
Eメール yamatyo@chousashi.net
発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 杉山 浩志
広報担当副会長 清水 浩二
広報部長 周原 稔
理 事 伊藤 正典
〃 宮崎 敏幸
印刷所 大村印刷(株)



山口県土地家屋調査士会

〒753-0042 山口県山口市惣太夫町2番2号
TEL083-922-5975 FAX083-925-8552
ホームページ<http://www.chousashi.net/>
Eメールyamatyo@chousashi.net